

平成 28 年 4 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社ヴィレッジヴァンガード
コーポレーション
代表者名 代表取締役社長 白川 篤典
(JASDAQ・コード 2769)
問合せ先 取締役管理本部長 渡邊 正直
電話 052-769-1150

特別損失の計上（個別）及び平成 28 年 5 月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は平成28年5月期第3四半期累計期間（平成27年6月1日～平成28年2月28日）において、下記のとおり特別損失の計上を行うことといたしましたのでお知らせいたします。なお、本件処理と併せ、最近の業績の動向等を踏まえ、平成27年7月15日に公表いたしました、平成28年5月期（平成27年6月1日～平成28年5月31日）の通期の業績予想を修正いたしますのでお知らせいたします。

記

I. 特別損失の内容

1. 子会社株式の減損処理に伴う特別損失の計上について（個別）

当社連結子会社の財政状態及び経営成績の悪化により実質価格が著しく低下したため、「金融商品に関する会計基準」に基づき減損処理を行い、関係会社株式評価損として特別損失 513 百万円を計上いたしました。

(関係会社株式評価損の内訳)

株式会社チチカカ	437 百万円
比利緹卡(上海)商贸有限公司	75 百万円

2. 貸倒引当金繰入額の計上について（個別）

当社連結子会社の財政状態及び経営成績を勘案した結果、当該子会社への貸付金に対する貸倒引当金繰入額 240 百万円を計上いたしました。

(貸倒引当金繰入額の内訳)

株式会社チチカカ 240 百万円

3. 業績に与える影響

本件の関係会社株式評価損及び貸倒引当金繰入額は、連結上相殺消去されるため、当該損失が連結業績に与える影響はありません。

II 通期業績予想の修正

1. 平成 28 年 5 月期の連結業績予想(平成 27 年 6 月 1 日～平成 28 年 5 月 31 日) (単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株式 に帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	46,885	245	121	△747	円 銭 △97.14
今回修正予想 (B)	45,653	△384	△409	△1,633	△212.28
増減額 (B-A)	△1,232	△629	△531	△886	
増減率 (%)	△2.6%	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 5 月期)	46,025	761	804	69	9.06

2. 平成 28 年 5 月期の個別業績予想(平成 27 年 6 月 1 日～平成 28 年 5 月 31 日) (単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	36,880	586	112	円 銭 14.59
今回修正予想 (B)	36,414	509	△1,831	△238.04
増減額 (B-A)	△466	△76	△1,944	
増減率 (%)	△1.3%	△13.1%	—	
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 5 月期)	36,367	1,429	967	125.77

3. 修正の理由

(連結業績)

連結子会社である株式会社チチカカにおいて、客数の減少、上期においてセール販売の抑制、当四半期では暖冬による冬物衣料の売れ行き不振もあり、既存店昨対は 90.1%と厳しい状況にて推移いたしました。これにより、売上高が計画を下回る見通しであり、営業利益、経常利益が減少する見込であるとともに、固定資産に係る減損損失等の特別損失の計上が見込まれ、親会社に帰属する当期純利益も減少する見込であります。これらの事象により平成 28 年 5 月期の連結業績予想を修正するものであります。

(個別業績)

連結子会社である株式会社チチカカの財政状態及び経営成績悪化により債務超過となったため、当社が 100% 保有する同社株式の実質価値はゼロとなることから、第 3 四半期連結累計期間に關係会社株式評価損 437 百万円、当社からの事業資金の貸付に対する貸倒引当金繰入額 240 百万円を特別損失に計上することといたしました。

また、連結子会社である比利提卡(上海)商贸有限公司につきましても、経営成績不振により実質価格は取得時から 50%以上下落いたしました。今後も厳しい経営状態が続くことが予想され、実質価格の回復も見込みにくいことから、關係会社株式評価損 75 百万円を特別損失に計上することといたしました。

今後の見通しにつきましても、株式会社チチカカの急速な業績回復は難しく、収益・利益面共に計画を大幅に下回る見通しであります。これにより、固定資産に係る減損損失の計上などにより、債務超過額はさらに膨らむものと予想されるため、当社からの事業資金に対する貸倒引当金繰入額の追加計上が必要となる見込みです。

これらの事象により当期純利益が大幅に減少する見込であるため、平成 28 年 5 月期の個別業績予想を修正するものであります。

※上記業績予想等は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上